

大会名 Competition	平成24年度 第43回 全国高等学校選抜優勝大会 秋田県予選大会 バスケットボール競技
NO. M-2	Year Month Day Time 2012 年 10 月 28 日 12 : 30
場 所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A	チーム B					
湯沢翔北	明 桜					
71 ○	59 ●					
<table border="1"> <tr><td>18 1st 15</td></tr> <tr><td>16 2nd 8</td></tr> <tr><td>17 3rd 17</td></tr> <tr><td>20 4th 19</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>		18 1st 15	16 2nd 8	17 3rd 17	20 4th 19	OT
18 1st 15						
16 2nd 8						
17 3rd 17						
20 4th 19						
OT						

主審:Referee
佐 藤 匠 (秋田)
副審:1stUmpire
田 村 高 光 (秋田)
副審:2ndUmpire

テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田県立横手城南高等学校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	加 藤 三津子	CAP	14	1	4	3	4	4	×	土 岐 環 奈	CAP	20	1	7	3	2
5	×	佐 藤 光		11	3	1	0	4	5		船 木 春 菜		-	-	-	-	-
6	×	小 松 佳緒里		9	1	3	0	2	6	/	高 橋 千 智		8	0	3	2	1
7	/	関 美咲子		13	1	5	0	1	7	×	鈴 木 美 聡		4	0	2	0	2
8	/	高 橋 春 香		16	0	8	0	2	8	×	熊 谷 春 花		14	2	3	2	1
9	×	佐 藤 良 奈		8	0	4	0	3	9		吉 田 奈津美		-	-	-	-	-
10	×	大 野 真 湖		0	0	0	0	-	10		田 村 奈 穂		-	-	-	-	-
11	/	山 口 紗 耶		0	0	0	0	-	11	×	真 崎 菜 生		-	0	1	0	0
12	/	阿 部 優美香		0	0	0	0	-	12		福 田 彩 花		-	-	-	-	-
13	/	柴 田 結		0	0	0	0	-	13	×	工 藤 千 穂		6	0	3	0	2
14		須 田 久瑠実		-	-	-	-	-	14		小 坂 朋 子		-	-	-	-	-
15		高 橋 奈 々		-	-	-	-	-	15	/	中 島 祈		5	0	1	3	0
16		藤 原 麻 都		-	-	-	-	-	16		加 藤 葉瀬里		-	-	-	-	-
17		佐 藤 南		-	-	-	-	-	17		靱 山 奈 央		-	-	-	-	-
18		最 上 朝 香		-	-	-	-	-	18		瀬田川 由 布		0	0	0	0	-
19		松 田 有 紀		-	-	-	-	-	19		佐々木 葉		-	-	-	-	-
20		高 橋 忍		-	-	-	-	-	20		伊 藤 しずく		-	-	-	-	-
21		柿 崎 瑞 希		-	-	-	-	-	21		菅 原 央		-	-	-	-	-
コ-チ		樋 渡 真 裕							コ-チ		嘉 藤 喜 隆						
Aコ-チ		熊 谷 傳 裕							Aコ-チ		千 葉 弥 生						
合 計				71	6	25	3	16	合 計				57	3	20	10	8

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝戦は4連覇を懸けて戦う湯沢翔北と、4年ぶりの優勝を狙う明桜との対戦となった。両チームともマンツーマンディフェンスからスタート。先制点は明桜。#8熊谷のフリースローと3Pシュートで0-5とし、その後オフェンスリバウンドに積極的に飛び込むなどのプレーが見られたが、得点にはつながらず、苦しい展開が続いた。一方、湯沢翔北は、開始2分に#9佐藤良のオフェンスリバウンドからのシュートで初得点とし、#6小松のパスカットからのブレイク、#7関の連続得点などで勢いづく、終了間際にも#6小松のワンマン速攻のよるブザービーターで、18-15の3点差で第1ピリオドを終える。

第2ピリオドは湯沢翔北#4加藤の連続得点でリードを広げる。対する明桜は苦しいシュートが続き、なかなかリズムよく試合を進められずに、最初のタイムアウトをとる。その後ディフェンスを2-1-2ゾーンに変えて、流れをつかみたい明桜だが、湯沢翔北#5佐藤光の2連続3Pなどで34-23とし、前半を終える。

第3ピリオドは湯沢翔北#4加藤と#8高橋の合わせで先制。対する明桜も#4土岐がドライブインで切れ込んでファールをもらい、フリースローを得るが、残り5分まで苦しい展開が続く。たまたま後半最初のタイムアウトをとり、ディフェンスをオールコートのゾーンプレスに変えると、#15中島のインサイドショットや#6高橋のバスケットカウントで、9点差まで詰め寄る。湯沢翔北も踏ん張るが、残り50秒で#4加藤が4つ目のファールで、ベンチへ下がると、終了間際に明桜#7鈴木にリバウンドショットを許し、51-40で第4ピリオドへ。

最終ピリオド開始から湯沢翔北は#9佐藤良のドライブや#5佐藤光の3Pなどで60-43とする。何とか追い付きたい明桜は、オフェンスリバウンドを支配するも、悉くリングに嫌われる。たまたま明桜は後半2回目のタイムアウトをとり、オールコートでプレッシャーをかけて勢いづいたのか、#6高橋のバスケットカウントや#13工藤の速攻で60-50と迫ると、湯沢翔北が初のタイムアウトをとる。その後#6小松の落ち着いたゲームコントロールもあり、明桜の追撃もむなしく、湯沢翔北が71-59で4連覇を果たした。